事例No.	1785
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	大阪府豊能町

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

地域し尿処理区域の公共下水道区域への編入・接続

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【大阪府豊能町】
地域し尿処理区域の公共下水道区域への編入・接続

広域化等　下水道事業

大阪府豊能町都市建設部都市計画課

● 取組の概要

人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化による更新需要の増大などの課題に対応するため、地域し尿処理区域を公共下水道区域に編入・接続した。

◆総事業費　建設費 11,478千円、 汚泥処理等清掃費 3,308千円

◆背景

- 地域し尿処理施設（コミュニティプラント）の老朽化に伴う機器の更新を控え、多額の更新費用が見込まれるうえ、人口の減少に伴う使用料収入の減少が顕著となる中、維持管理委託料が大きな負担となっていた。
- これら課題を解決するため、地域し尿処理区域を流域関連公共下水道区域に編入することとした。

◆具体的内容

- 地域し尿処理場に流入していた汚水を公共下水道に接続し、地域し尿処理施設を1か所、マンホールポンプ場を1か所廃止した。

◆効果

- 地域し尿処理施設を廃止したことにより、①機器の更新費用及び②維持管理費が削減された（①▲約70,000千円、②▲約3,150千円／年）。

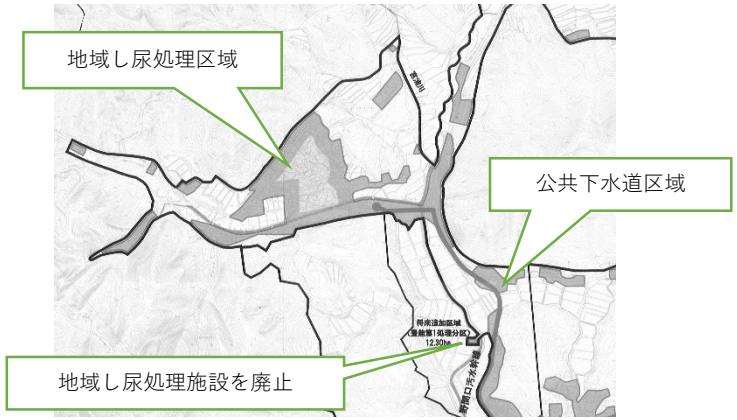
● 取組のポイント

- 公共下水道の整備により、地域し尿処理施設に流入する下水道管きょに隣接して公共下水道の管きょが布設されたことで、新たにポンプ場等を設置することなく接続が可能であった。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　18,823人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　34.34km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　18,590人（令和3年度決算）

編入する処理区域の位置図



● 取組のスケジュール

- 平成16年度に検討を開始し、平成18年度に公共下水道区域に編入し平成20年度に工事着工。
- 平成21年度から供用開始。

● 今後の展望

- 持続可能な下水道事業の経営のため、ストックマネジメントを推進し、施設管理を最適化していく。